

August2011

徳島県博物館協議会

NO. 37

ニュース

ⅢⅢ 総会を 阿南市科学センターで開催ⅢⅢⅢ

6月28日(火)阿南市科学センターにおいて本年度の総会が開催されました。23年度の事業計画等を決定した後、講演会とセンター内の見学を行いました。

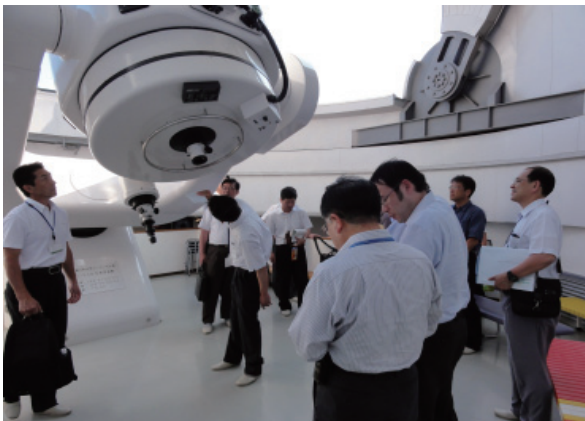
- 講演会 ①「阿南市科学センターの活動報告」
阿南市科学センター
主任研究員 堀 嘉夫 氏
②「大規模災害と資料救助活動」
徳島市立徳島城博物館
学芸員 森脇 崇文 氏

○センター内見学

- ・デジタルプラネタリウムの説明と体験
- ・口径113センチ反射望遠鏡を備えた天文観測室の見学



講演会の様子



天文観測室の見学

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は51館で組織しています。

WEB上では「徳島県博物館マップ」からご覧になれます。

ⅢⅢⅢ 情報コーナー ⅢⅢⅢ

上板町立歴史民俗資料館

「特別展『藍—あい—展』について」

当館では、3月30日から4月3日にかけて、特別展「藍—あい—展」を開催した。

今回は、上板町を含む主に吉野川流域でつくられているタデアイの染料「^{すくも}薬」にちなんだものを取りあげ、江戸時代以降、阿波藍として全国に名を轟かせ、伝統として残っている様子を紹介した。

製造時の用具(ハネ・クマデ・コマザラエ・フトン・^{かます}吠)、製造技術を収録したビデオを展示、上映し、阿波藍がなぜ現存できたのかを示す資料とした。また、この藍を用いた染物作品も展示し、現代の生活に息づいていることを説明できた。この展示資料の一部は、藍師・町内小学校から協力をいただき、借用したものである。

見学者からは、「染物を見るけれど、製造方法は知らなかった。それを知ることができ良かった」「薬ができあがるまで、長い時間がかかることに驚いた」等の意見をいただいた。

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1

Tel. 088-694-5688



情報コーナー

徳島県立近代美術館

「文化の森 天水スタジオ『おどる阿呆に 描(か)く阿呆』展示」

○とき：平成23年7月30日(土)～8月28日(日)まで。

○ところ：近代美術館ギャラリー(1F) 観覧無料

この夏、文化の森では、6つの施設が連携して「文化の森 阿波おどりフェスタ」(文化立県とくしま推進会議「萬の民の阿波おどり」協賛事業)を開催しています(平成23年8月28日(日)まで)。

歴史や芸術など、様々な視点から、阿波おどりの新しい魅力を発信する事業です。

そのうち、近代美術館では、文化の森天水スタジオ「おどる阿呆に 描(か)く阿呆」と題して、阿波おどりとアートをテーマにした3つのワークショップ(もの作り)を行い、それらに参加したみなさんの作品を展示しています。

阿波おどりといえば、踊る阿呆に見る阿呆。でも、それ以外に、もっといろんな阿呆がいてもいい。アートを通して阿呆になれるはず。近代美術館ではギャラリーでの展示に先立って、6月から7月にかけて、阿波おどりとアートをテーマにした3つのワークショップ(もの作り)を行いました。

①「阿波おどりを描こう～踊り手をモデルにクロッキー～」

「初心者編」・6月19日(日)・6月26日(日) 13:00～16:00 アトリエ(3F) 定員各20名

「経験者編」・7月17日(日)・7月24日(日) 13:00～16:00 ギャラリー(1F) 定員各30名

○講師：西田威汎先生、武市勝先生、鈴木久人先生(鳴門教育大学)

○モデル：「藍吹雪」のみなさん



阿波おどりの第一線で活躍中の踊り手さんをモデルに招き、その姿をクロッキー(速写)で描きました。参加者1人につき1枚の作品が展示されています。手や足を上げるという、通常ではまず

行うことのない難しいポーズに、踊り手の皆さんがチャレンジ!会場には緊張感が漂います。短い静止時間で、瞬間の美しさをとらえられたでしょうか。

②「阿波おどり 手ぬぐいプロジェクト」

7月3日(日)、9日(土)、10日(日) 10:00～16:00 アトリエ(3F) 定員15名

○染色指導：中川存先生(鳴門教育大学名誉教授)

○アドバイス：JAGDA 徳島地区(社団法人日本グラフィックデザイナー協会徳島地区)に所属するデザイナー有志 岡本幸雄、酒巻和弘、敷島のり子、村上忠之、吉本實(50音順)

阿波おどりに欠かせないアイテムの1つ「手ぬぐい」を、手軽で楽しく、そして実験的な染色の方法で作りました。綿のさらし(約34cm×約98cm)に化学染料を使って2つの方法で染めます。一つめは、紺色に浸し染めをしたのち、洗濯のりに漂白剤を混ぜたもので抜染をしました。もう一つは、中川存先生が考案されたオリジナルの染料チョークと染紙を使い、まるでお絵かきや貼り絵をするような感覚で染めていきました。染色経験者でも、これまで経験したことのないような新鮮な方法です。またデザイナーからのアドバイスで、構図やデザインのイメージが大きく広がりました。それぞれの染め方で参加者1人につき1枚ずつ、計2枚の作品が展示されています。



③「みんなで作ろう LED 印籠」～キラキラ印籠づくりワークショップ～

7月24日(日) 13:00～16:00 多目的活動室(1F) 先着順50名

阿波おどりのアイテムのひとつ「印籠」。LEDを使ってオリジナルの印籠を作りました。

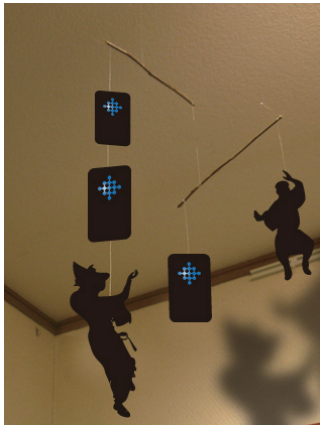
LEDを生かしたまちづくりを進めている「NPO法人コモンズ+あかてクラブ」との協働事業です。7色に光る印籠にデコレーションをして、自分だけの印籠を作りました。阿波おどりを見に行くときに欠かせない必携アイテムとなることのできるでしょうか。

情報コーナー

いずれのワークショップも、参加費が必要であったにもかかわらず、定員を上回る盛況ぶり、うれしい悲鳴をあげる日々でした。

また、7月31日には、クロッキーのモデルをつとめていただいた「藍吹雪」の皆さんによる阿波おどり公演も開催。一流の踊りと鳴り物で観客を魅了し、ギャラリーの展示オープンにすばらしい華を添えてくださいました。

ギャラリー（1F）での展示は、8月28日（日）まで開催しています。また所蔵作品展（2F）においても、「徳島ゆかりの美術」のコーナーで、阿波踊りを描いた作品を展示しています（8月2日から9月4日まで）。いずれも観覧は無料（ただし8月31日まで）となっています。多くの皆さんの来館をお待ちしています。



LEDを使った印籠とモビール



〒770-8070 徳島市
八万町向寺山
☎ 088-668-1088

【90分】 対象：小学校高学年
*申込方法：お電話（0884-34-3251）または直接スタッフまでお問い合わせ下さい。

Wa ンダーランドスタッフになって、ご家族を発電所へ案内してあげよう。見学マニュアルがあるので初めてでも大丈夫！夏休みの思い出にもぴったりです。

○8月13日：ふしぎ発見工作教室
～電気っておもしろい～ ①11:00～
②14:00～（製作時間：60分程度）

*対象：小学校高学年 *定員：各20名（先着受付順）

*準備物：「1リットル牛乳パック1本」・「折り紙」

*申込方法：お電話（0884-34-3251）または直接スタッフまでお問い合わせ下さい。

○サンデーイベント（毎月第3日曜日開催）：
小学生対象 ①11:00～ ②14:00～
各20名（先着受付順）

★8月21日「自動販売機型貯金箱」

準備物：ティッシュの空き箱1個・トイレトペーパーの芯3個

★9月18日「砂絵アート」（準備物：特になし）

*申込方法：お電話（0884-34-3251）または直接スタッフまでお問い合わせ下さい。



〒779-1620 阿南市福井町舟端
1番地 Tel. 0884-34-3251



あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）～阿波木偶資料館～

「阿波木偶資料館（常設展示・無料）」

あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）5階にて阿波人形浄瑠璃の木偶カシラ・衣装・小道具類を展示している。木偶の種類別、時代別また作者別に木偶カシラを展示している。

なお、13:00～16:00の時間帯には、阿波木偶資料館に解説員が待機しており、木偶カシラや阿波人形浄瑠璃に対する質問等にに対応している。



〒770-0835 徳島市藍場町2-14
Tel. 088-622-8121

「パワーよんでん Wa ンダーランド」

当園は、電源開発(株)と四国電力(株)の橘湾石炭火力発電所の対岸に位置する体験型施設です。屋内の展示コーナーでは、さまざまな「ふしぎ」に好奇心がふくらみ、発見する喜びを味わえます。また、屋外にはWa ンダーグラウンドをはじめ、趣向をこらした遊具や四季を彩る花畑などが広がり、元気に体を動かしたり、ゆったりとリフレッシュしたりできます。

《8月～9月の催し物案内（参加無料）》

○7月20日～8月31日：橘湾石炭火力発電所個人見学会 ①10:30～②12:30～③14:30～
【60分～90分】

定員：1回6名様まで（小学生以上）

*申込方法：お電話（0884-34-3251）または直接スタッフまでお問い合わせ下さい。

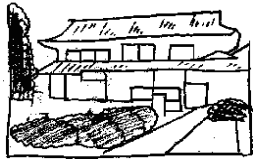
○7月20日～8月31日：発電所見学案内体験会～Wa ンダーランドスタッフ体験～
①10:30～ ②12:30～ ③14:30～

情報コーナー

藍住町歴史館「藍の館」

「阿波藍発見！」

- 藍染体験コーナーでの自分が染めたい古いシャツ等の持ち込みによる体験。
- 徳島の伝統産業である阿波藍と木工職人、2つの異業種によるコラボレーションから生まれた藍の家具展示
- 阿波藍の訪問授業（平成23年度）
徳島の各小・中・高校22校に訪問授業を行い、藍の文化と歴史等の勉強と藍染体験をして地域の伝統文化を次世代に継承し、活性化することが目的で行った。



〒771-1212 板野郡藍住町
徳命字前須西172
☎088-692-6317

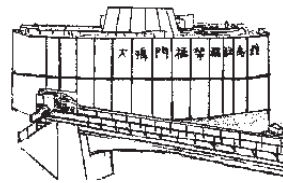
大鳴門橋架橋記念館

「好奇心くすぐる渦と橋のミュージアム」

大鳴門架橋記念館エディでは、夏休み期間中9時～18時まで延長開館いたします。
※8月12日～15日は、8時～18時
また、夏休みには限定企画として記念館エディと渦の道の「共通チケット」を購入されたお客様に「オリジナルクリアファイル」をプレゼントします。
詳しくはホームページをご覧ください。

※プチ情報

今、記念館エディでは、ゴーヤが育っています。夏休み中にはりっぱなゴーヤが実りそうです。皆さんぜひ見に来てください。



〒772-0053
鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池
☎088-687-1330

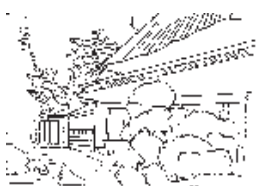
平家屋敷民俗資料館

「三好市指定文化財（有形文化財建造物）」

西岡家は、京都から平家一族と共に祖谷に入山しており、当時は堀川の姓であったが、阿波の殿様が蜂須賀になったことで西岡地区の庄屋となり西岡姓になった。

庄屋は、木造茅葺き、寄棟造り平屋建てで、西岡太治の時代（幕末から明治時代）に宮大工に3年の歳月を掛け造られたといわれている。

「コビラ玄関」という珍しい造りがあり、部屋には壁、押し入れがなく、戸をはずすと1室になる。また、土蔵は木造瓦葺き切妻造り2階建てで、主屋とほぼ同時期に造られたといわれる。上から火が入らないように、屋根を上にした状態になっており、火入らずの蔵といわれていた。この時代、屋根瓦は祖谷地方に珍しく、前戸は三重になり、外戸は土でできている。主屋・土蔵ともに贅を尽くした造りで創建当初の姿を残しており、祖谷型民家の歴史的变化を知る上で貴重な建物である。



〒778-0105 三好市西祖谷
山東西岡46
☎0883-84-1048

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

「今秋に開館1周年記念展『鳥居龍蔵の見た北東アジア』展を開催！！」

鳥居龍蔵は、東京大学を退職した後、「鳥居人類学研究所」を立ち上げて、きみ子夫人ら家族とともに北東アジアの調査を行いました。

その調査で撮影された写真が、東京大学東洋文化研究所及び本館に保管されています。

開館1周年記念として、鳥居龍蔵が北東アジアで撮影した写真群の一端を展示し、鳥居龍蔵が見た北東アジアの世界を見ていただきます。

会期は10月29日（土）～12月4日（日）、会場は文化の森1階の多目的活動室です。また、会期中の11月23日（祝）に博物館講座室で、古松崇志氏（岡山大学准教授）をお招きして記念講演会を開催します。



〒779-8070 徳島市八万町
向寺山
Tel. 088-668-2544

情報コーナー

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

「阿波人形浄瑠璃」

○郷土芸能の阿波人形浄瑠璃を毎日11:00～・14:00～上演しており、8月11～16日の阿波踊り期間中は、11:00～・14:00～・15:30～と3回上演しております。また、遠足等でご来館された生徒の皆様に、ご希望により舞台上で人形遣いの体験をしていただいておりますので、観るだけでなく、大変興味深く理解を深めていただけます。

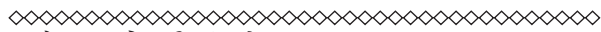
○屋敷内の母屋でのNHK徳島文化センター西田茂雄塾の写真展は、毎月入替えて展示しております。

○竹本友和嘉(友和嘉会主宰)による夏の義太夫教室が7月22日・29日、8月5日・19日・26日と5回開催されます。

○11月19日(土)20日(日)阿波人形浄瑠璃振興会主催のフェスティバルが開催されます。



〒771-0114
徳島市川内町宮島本浦
184
Tel. 088-665-2202



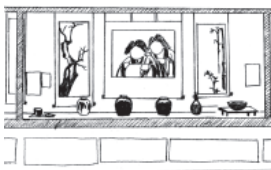
東福寺美術館

「細川氏古文書と阿波の絵画と書」

昨年10月30日から5日間、当館設立20周年記念に当たり、特別展として屏風展を開いた。特に阿波藩の御用絵師、渡辺広輝とその弟子守住貫魚が同じ絵の「富士の四季」、幕末の三筆の貫名松翁と市河米庵の2人と中国二十四孝の二孝を描いた岸八行のものが注目された。

今年度は、三好賢古の襖絵と絵画、彫刻等50余点を展示する計画である。

常設展では、今年1月26日の徳島新聞で「細川氏の古文書、発見」と大きく報道された阿波守護細川和氏と足利尊氏陣営の軍事に司る役職にあった細川顕氏の二人が現在の板野郡の武士に恩賞を与えることを記する建武3年(1336)2月15日付の古文書を展示している。



〒779-4109
美馬郡つるぎ町貞光
字木屋 341
☎0883-62-2207

あすたむらんど徳島子ども科学館

《プラネタリウム》

一般投影

○HAYABUSA BACK TO THE EARTH

※番組投影のみで星空解説はありません。

○スペースエイジ 宇宙を目指すものたち

10周年記念投映 ～8月31日(水)

○ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検

※スケジュールが変更になる場合がありますので、詳しくはHPまたは電話でお問い合わせ下さい。

《子ども科学館》

○第25回企画展 ロボとぼくの夏休み

2011年・夏。徳島に衝撃が・・・

阿波おどりを踊るロボダンサーズが登場!!

君も一緒に「あすたむ連」で踊っちゃえ!

他にも月面探査をモチーフにした巨大ジオラマコースや可愛いアザラシ型ロボットなど、体験型の展示物が大集合☆

ロボと一緒に夏休みの思い出をつくろう!!

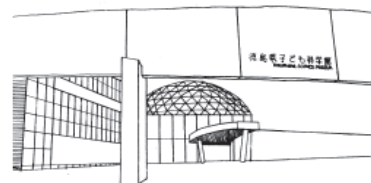
開催日 7月16日(土)～8月31日(水)

時 間 9:30～17:30

参加費 子ども科学館常設展示またはプラネタリウムの観覧券が必要

あすたむらんど徳島は、7月1日で10周年を迎えました。子ども科学館やプラネタリウムだけでなく様々なイベントを用意して皆様のお越しをお待ちしております。

各イベントの詳細については、催し案内かHPでご確認していただくか、お電話でお問い合わせください。



〒779-0111 板野郡板野町那東字キビガ谷 45-22

Tel. 088-672-7111

HP. <http://www.asutamuland.jp/m/>

情報コーナー

旧永井家庄屋敷

「つるぎ町指定有形文化財」

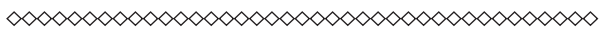
切妻本瓦葺の門を開くと、築地堀に囲まれた550坪の敷地。その中には母屋（主屋）、蔵、ネドコ等の建物群と、鶴亀蓬莱庭園（座視鑑賞式）が広がる。さらに庄屋としての特別な格式を備えた間取りは、他の民家とは明らかに趣を異している貴重な文化遺産である。

7月～9月は稀少な「すずかけ草」が紫の花を咲かせているのが見られる。

—イベント—

- 貞光夏まつり阿波踊り大会
- 8/15（月）、16（火） 雨天決行
- PM 19:00～22:00
- 中央商店街（踊り天国）
- 旧永井家庄屋敷（舞台）

〒779-4101 美馬郡つるぎ町貞光字西浦
☎0883-62-2018



三好市井川ふるさと交流センター 民俗資料館

「刻みたばこ内田弥八」

当民俗資料館は平成4年に3階建ての「井川町ふるさと交流センター」が建設され、その1階（420㎡）に設置されている。当館の特徴は次の点である。

その1、刻みたばこ資料の展示。

藩政時代から阿波の3大特産品の1つとして数えられている「刻みたばこ」の資料が数多く展示されている。阿波に刻みたばこ工場が作られたのは天明2年（1782）であると伝えられ、以後たばこ産業が国の独占事業である専売制になる明治38年までおよそ130年間にわたって阿波の刻みたば

こは北海道をはじめ全国に商圏を広げ、その販売高も驚異的なものがあった。県内での工場数は、三好市（主として井川町辻、池田町）に集中して明治35年の統計で134（従業員10人以上）あり、それ以下を含めると約200あったと推測され、県下一の工業都市であった。

その2、内田弥八関係資料

弥八は本町西井川に生まれ、15歳で大阪に出て、3年間商家の店員となり、18歳で漢学を学び、22歳で慶應義塾にて英学を学び、福沢諭吉に愛された。在学中、ジンギスカンを源義経とする『義経再興記』を刊行し、明治のベストセラーとなり、富と名声を得た。明治21年実業人となるべく海外事情を知るために中国、印度、シャム等に渡航していたが、途中で発病し帰国、熱海で死亡。30歳。徳島市で追悼会が開催されたが千人を超える人たちが集まったと伝えられている。波瀾万丈の短い生涯であった。

これらの資料収集に当たっては、町民の協力はもとより、中心的な役割を果たした人がいる。吉岡浅一氏である。氏は、昭和57年から平成4年まで10年間教育長として務められ、特に文化財行政に尽力し、退職後はこの民俗資料館と図書館の初代運営委員長として就任し、平成12年80歳で亡くなるまで8年間活躍された。

教育長在任中から『井川町の文化財』等を編集し、文化財行政の基礎とその方向性を確立した。また、驚くほど精力的に民俗、考古資料の収集に当たった。これら郷土資料が学校教育・生涯教育に活かされている。この民俗資料館そのものを「郷土史吉岡浅一先生の足跡」としてその功績を顕彰している。



〒779-4802
三好市井川町岡野前
64
☎0883-78-4311



徳島県博物館協議会ニュースNo. 37

平成23年8月1日 発行
編集・発行者

〒770-8070

徳島市八万町向寺山

徳島県立博物館内

徳島県博物館協議会事務局

TEL. 088-668-3636

FAX. 088-668-7197